

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【公開番号】特開2007-186464(P2007-186464A)

【公開日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-028

【出願番号】特願2006-6721(P2006-6721)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/891 (2006.01)

A 6 1 K 8/898 (2006.01)

A 6 1 K 8/92 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/34

A 6 1 K 8/891

A 6 1 K 8/898

A 6 1 K 8/92

A 6 1 Q 5/12

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月1日(2009.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

上記ゲルは、温度25における粘度が $7 \times 10^3 \sim 7 \times 10^4 \text{ mPa} \cdot \text{s}$ であることが好ましい。該粘度が上記範囲にあると後述する油滴粒子が合一せずに良好な分散性が確保されるとともに、製造も容易である。なお、粘度の測定は、B型粘度計で、30の条件下、ローターNo.4、12 rpmで、またはローターT-C、10 rpmで測定したものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

一般式(I)で示されるアミノ変性シリコーンの動粘度は、 $10 \text{ mm}^2/\text{s}$ 以上の粘度を有することが好ましく、 $100 \text{ mm}^2/\text{s}$ 以上が更に好ましく、 $1,000 \text{ mm}^2/\text{s}$ 以上が特に好ましく、 $5,000 \text{ mm}^2/\text{s}$ 以上が最も好ましい。また $100 \text{ 万 mm}^2/\text{s}$ 以下が好ましく、 $10 \text{ 万 mm}^2/\text{s}$ 以下が更に好ましい。この範囲内であると、油剤相(A)の毛髪への残留性が高く好ましい。なお、粘度の測定は、B型粘度計で、25の条件下、ローターNo.2を6 rpmで測定したものである。